

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 高齢者に対する心房細動アブレーションにおける有効性と安全性の検討

[当院研究責任者] 部署名 循環器内科 氏名 坂本裕資

[研究の背景] 心房細動（AF）に対するカテーテルアブレーションは確立された治療であり、現在では治療の第一選択となっている。高齢者においてもその有効性、安全性は報告されている。また同様に冷凍（クライオ）アブレーションも高齢者において有用であることが報告されており、また手技時間の短縮にも有用である。ただ年齢が上がると、アブレーションに伴う合併症が増加することも報告されている。有効性についても、高周波（RF）、クライオ共に年齢が上がることにより再発が増えるといわれている。

[研究の目的] これまでの高齢者に関する報告は、75歳以上を対象としたものがほとんどであり、本研究の目的は、これまでの報告よりさらに高齢者（80歳以上）のAFアブレーションにおける特徴、有効性、安全性を検討し、また治療における合併症発生や、AF再発の予測因子を検討することである。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2019年7月から2021年12月までの期間において当院で初回のAFアブレーション（発作性、持続性両方含む）を施行した80歳以上の方

●研究期間：実施許可から日から 2022年12月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、心房細動の罹患期間、持続形態原因疾患（発作性、持続性、長期持続性）心不全入院歴、併存疾患の有無（高血圧症、灯明病、脂質異常症、脳卒中、閉塞性肺疾患、悪性腫瘍など）、自覚症状、内服薬情報、その他不整脈合併症の有無

●利用する検体、カルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 循環器内科 氏名 坂本裕資

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139